

速報 大滝会、旧万世大路の環境整備を実施

——旧国道 13 号路側の草刈、雑木枝刈りをおこなう——

報告：理事 伊藤弘治

理事 鹿摩貞男（特別会員）

はじめに

大滝会では、7月14日（土）に旧万世大路（旧国道13号）の環境整備の一環として路側の除草、雑木枝の刈り払い等を実施してきました。実施区間は、現国道13号（東栗子トンネル福島側坑口付近）から旧国道13号（万世大路）分岐点までの連絡路の一部と、この分岐点から二ツ小屋隧道福島側坑口までの旧国道13号です。その実施状況について写真を中心に報告する。

旧万世大路には毎年多くの方が訪れ、隧道（トンネル）や橋梁などの貴重な土木遺産を見学したり、珍しい山野草・樹木（花）を觀賞したりして自然を満喫していただいております。しかし、旧道には毎年雑草が繁茂し、雑木の枝や倒木、崩落土等が通行の妨げとなっている。特定の管理者がいるわけでもなく、その環境整備は各ボランティア団体の任意の協力によって実施されている。わが大滝会もその任意団体の一つであり、他に「飯坂史跡保存会」も協力されている。また「福島市万世大路を守る会」では倒木や崩落土処理などもおこなっているところである。

本報告では、その第1として草刈、雑木枝刈りの状況を報告する（写真）。

第2として、万世大路の現況を報告する（写真）。我々は草刈作業前に最初に烏川橋まで行っておりその際途中で撮影した万世大路の現況を本項で紹介するものである。

二ツ小屋隧道から烏川橋までの作業は限定的で、本格的には二ツ小屋隧道福島側坑口から下りながら草刈等を実施しております（第1での報告）。第2では、草刈作業等とは直接関係しない万世大路の現況報告となります（草木等の紹介含む）。

第1 草刈、雑木枝刈り作業（写真）

草刈等の作業は、二ツ小屋隧道福島側坑口から下りながら実施していきました。

（写真-1①～写真-7②）



写真-1① ニツ小屋隧道福島側坑口付近、「万世大路を守る会」過日草刈済。整理されている。



写真-1② 草刈本格的に開始。作業準備。ニツ小屋隧道福島側坑口前。



写真-1③ 草刈機、手早く作業。
隧道手前、旧万世大路ヘアピンカーブ付近。



写真-2① 昭和の大改修で新設、ヘアピンカーブ(バイパス部)中段。草刈等終了後。米沢側から福島側を望む。



写真-2② 昭和の大改修で新設、ヘアピンカーブ(バイパス部)中段、中間部石積箇所。米沢側から福島側を望む。草刈済み。



写真-2③ お片付け



写真-3① 米沢側からカエル岩(左側)方向を望む。



写真-3② カエル岩(頭部が落下)



写真-3③ 雑木枝刈払いと草刈。
カエル岩福島側、ビューポイント付近。



写真-4① 雑木刈払い、見事な切れ味。



写真-4② 軽快、草刈機。カエル岩の下。



写真-4③ 雑木枝刈り払い。



写真-5① 雑木枝刈り払い。連絡路分岐点米沢側。



写真-5② 草刈、枝払い後の万世大路。



写真-5③ 「大滝会」草刈(維持補修)作業中の表示。



写真-5④ 草刈機、燃料補給。



写真-6① 連絡路(旧工事用道路)分岐点。
左側万世大路(旧国道13号・5号)、
右連絡路(旧工事用道路)。米沢側から望む。



写真-6② 分岐点から連絡路(東栗子トンネル方向)を
望む。



写真-6③ 連絡路、雑木枝刈払い。



写真-7① 作業終了記念写真(1) 撮影:鹿摩貞男さん



写真-7② 作業終了記念写真(2) 撮影:伊藤弘治さん

2 万世大路の現況(写真)

草刈等の作業に先立ち烏川橋まで行ってみました。本項では、万世大路の現況を報告する。

(写真-8①~写真-15④)



写真-8① 出発準備(伊藤弘治車)。

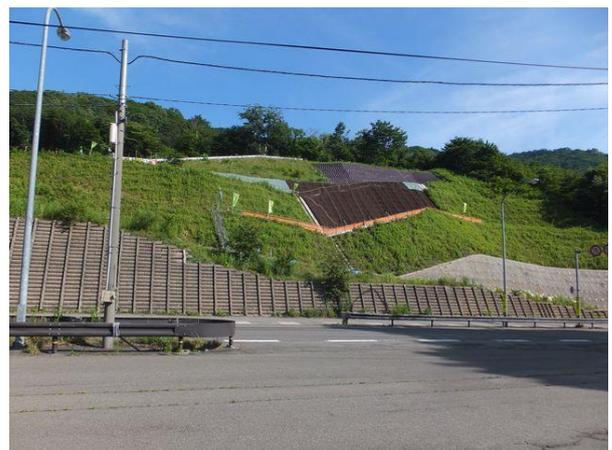


写真-8② 万世大路連絡路・取付部(換気塔管理用道路として新設)その1。
写真上、ガードレール(白色)箇所が連絡路取付部終点で、以降旧工事用道路を利用した連絡路となる。
東栗子トンネル福島側駐車帯から望む。



写真-8③ 万世大路連絡路・取付部(換気塔管理用道路)その2。
東栗子トンネル福島側駐車帯から望む。



写真-8④ 連絡路取付部(換気塔管理用道路)。
右建物はE13東北中央自動車道新栗子トンネル換気塔、左側国道13号東栗子トンネル福島側旧換気塔(現在廃止)。
中央奥の山は葡萄沢山。



写真-9① 万世大路連絡路・旧工事用道路を利用した連絡路起点。



写真-9② 万世大路連絡路(旧工事用道路)



写真-9③ 連絡路起点(分岐点)を望む。
写真奥が旧国道13号(万世大路)、左米沢側、右福島側。



写真-9④ 分岐点付近から万世大路米沢方向を望む。
左側連絡路(旧工事用道路)起点。



写真-10① 昭和の大改修バイパス起点・明治期万世大路「七曲」合流箇所付近、右側大木の奥が「七曲」第1カーブ箇所。写真中央奥が竖溝箇所。米沢側を望む。



写真-10② 昭和の大改修(S8.4～S12.3)施工の竖溝(たてこう)。写真上は明治期万世大路「七曲」第1カーブ箇所。



写真-10③ 旧国道13号(万世大路)、ビューポイント手前、紫陽花ロード。カエル岩の下。福島側から米沢側を望む。



写真-10④ 紫陽花ロード、ヤマアジサイ盛り。



写真-11① ニツ小屋隧道手前の最後のカーブ。米沢側を望む。



写真-11② ニツ小屋隧道手前の石積箇所。米沢側を望む。



写真-12① ニツ小屋隧道福島側坑口付近。
写真中央石碑は鳳駕駐蹕之蹟、
その右側石段の上に山神様。



写真-12② 鳳駕駐蹕之蹟(ほうがちゅうひつのせき)、
M14.10.3 明治天皇御小休箇所記念碑。
H300714



写真-12③ 石段の上、山神様



写真-13① ニツ小屋隧道福島側坑口



写真-13② 隧道中央部崩落箇所。米沢側から福島側
を望む。



写真-13③ 天井崩落箇所(トンネル覆工コンクリート
アーチ部)。
米沢側坑口から福島側を望む。



写真-13④ 天井崩落箇所(トンネル覆工コンクリートアーチ部)。



写真-13⑤ 米沢側坑口手前から米沢側を望む。



写真-13⑥ ニツ小屋隧道米沢側坑口



写真-14① 米沢側坑口から米沢側を望む。



写真-14② D 烏川橋、福島側から米沢側を望む。



写真-15① 栃の木とその実。
烏川橋左岸(米沢側)上流側



写真-15①(拡大再掲) 栃の木とその実。烏川橋左岸(米沢側)上流側



写真-15② サワグルミ(カーコの木)。木は各種用材、皮は屋根葺き材料。烏川橋左岸(米沢側)下流側



写真-15③ サワグルミの花(カーコの木)



写真-15④ ウツボグサ(靱草)、烏川橋にて。

おわりに

作業実施日7月14日(平成30年)は、平年より11日も早い梅雨明けとなりました(東北南部)。その日、福島市内での最高気温は35.5度の猛暑日となりました。山の中では、さすがに木陰に吹く風は心地よいものでしたけれども、動けば暑く汗が滴り落ち厳しい作業となりました。しかし全員熱中症になることもなく無事終了することができました。

朝、7時半に東栗子トンネル福島側坑口駐車帯に集合し8時前に出発、戻ったのが11時過ぎでした。

今回の参加メンバーは、木村義吉大滝会会長、伊藤弘治・渡辺光義・斎藤正美・鹿摩貞男各理事の5名である。

本稿の編集にあたっては大滝会HP管理人紺野文英様にいつものようにお世話になりました。衷心より御礼申し上げます。

—終わり—